

平成30年1月9日
熊本県立松橋支援学校図書館発行



新年あけまして おめでとうございます

大伴家持

新しき
年の始の
初春の
今日ふる雪の
いや重け吉事

【意味】今日は、年があけての正月一日、初春がきたと、いわう日です。

初春の今日、雪が降るのは、おめでたいこと、このうえなしです。雪がふりつもるように、めでたいこと、よいことが、どんどん重なりますように。



【参考】
はじめての短歌の本

今年も、みなさんにとって、素敵な一年になりますように。
図書館は、みなさんの学校生活を応援しています！！



給食×図書館の本！？

1月22日(月)～26日(金)は給食週間。ということで、1月の給食メニューに、図書館の本をコラボさせてもらいました！絵本などに登場する、おいしい料理が、給食に登場しますよ！

1月のこんだてひょう、★マークがついているメニューがその料理です。

この他にも、図書館には、“おいしい本”をたくさん展示しますので、お楽しみに～♪



新しい本、もう読んだ？



漫画 君たちはどう生きるか？

今、話題の一冊！

人間として、どう生きていけばいいのか・・・人間として生きる皆さんの生き方の指針となる言葉がたくさん詰まっています。今、悩みを抱え立ち止まっている人も、そうで無い人も、“生きること”を自分の頭でじっくり考えてみませんか？

ノラネコぐんだんアイスのくに
人気のノラネコぐんだんシリーズ最新作！はちやめちや痛快、今回も期待を裏切りません。大人もいっしょに笑えますよ。





新年おめでとうございます。今年もよろしくお祈いします。

今回、私自身の読書歴を振り返ってみました。小学生の時は、「ナイチンゲール」や「ヘレン・ケラー」といった伝記・偉人伝を図書館から借りては読んでいました。中学生・高校生になると、部活動などで忙しく、夏休みや冬休みに奨められた本を読んでいくくらいです。大学生の時は、雑学の本や心理学の本を読んでいました。自分は本当にこれでよいのだろうか、本当に教師になりたいのだろうかと思っていた時期でもありました。「読みたい本」「気になる本」は、その時の自分が置かれている状況や心が反映されていると感じています。そこで今までに気になった本を紹介します。

1つめは、大学を卒業したくらいに出版された本です。吉本ばななさんの『TUGUMI(つぐみ)』です。当時、月刊ファッション雑誌『マリ・グレル』に連載されていました。私の名前と同じ『つぐみ』ということで、気になって読み始めました。毎月毎月わくわくしながら読んでいて、次号が待ち遠しかったのを思い出します。時代とその時の感性がより興味をそそったのだと思います。連載後すぐに単行本で出版され、後に文庫化されました。

2つめは、「鏡の法則」です。自分に起きることは、自分自身に関わる原因が必ずあるという内容です。子育て中で忙しくバタバタしていて、準備が遅くなるとは子どものせいにしていたのですが、一つ一つ遡って振り返っていくと、自分自身の行動が原因であったと気づき、反省しました。

3つめは、子どもに読んであげていた絵本の中から「こすずめのぼうけん」です。こすずめがおかあさんと空を飛ぶ練習をしているとき、言いつけを守らずに遠くまで飛んでいってしまい、休ませてもらう巣を探していました。どこの巣からも仲間でないからと入れてもらえず、途方に暮れているところをお母さんが探しに来てくれ、無事に巣に戻ったというお話です。当時、娘(3歳頃)に読んであげていたところ、「わーん、わーん」と大きな声で泣き出しました。数年後、同じ本を読んでも、泣き出すことはありませんでした。泣いてしまった当時は、弟が生まれて親の愛情が自分にだけではなくなったことが寂しかったのかもしれませんが、本を取り出してみると表紙に「がんばったねシール」が貼ってありました。きっと娘が貼ったのでしょう。

同じ本でも、読んだときの年齢や環境、立場などいろいろな状況で感じる場所も違います。また、何か答えを求めて読んだりすることで注目する場所も異なります。ゆっくりした夜の時間に「気になる本」から読んでみませんか。

